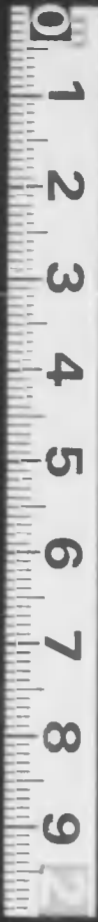


過
寫
報
眞

輯 編 局 報 情
ンセ十・號六十八百第・日七十月九

九月二十日は航空日





9月20日
航空日

これは航空日を迎へて大日本飛行協会から一般に賣出される航空日章です。この記章は純アルミニウム製で、その材料の中にはかつて購買を強つて支那大陸を縦横に駆けめぐり、輝かしい武功を樹てた陸海軍機の一片を熔かし込み、造幣局で製作した意義深い記章です。なほ大日本飛行協会ではこの記章賣上の純益を全部グライダー製作に充てこのグライダーを全国各地の飛行協會航空訓練所に配備し、航空要員養成に馬力をかけようとしてゐます。

これから日本が更に強く、更に大きく伸びてゆくためには、どうしても世界に冠絶する航空兵力が必要だ。だがこれは軍や一部の専門家の力だけでは作りあげられるものではなく、**全國民の胸に航空熱が燃えさか**つてはじめてその中から生れてくることを忘れてはならない……

九月二十日には第二回目の航空日がある

一億國民が一人残らず日本の空をみなほし、空へ立ちあがる決意を新らしくしなければならぬ日だ——

陸軍飛行場にて
陸軍航空機の試演

満洲事変十周年

～ 祖父の血 聖地・滿洲



滿鉄鐵道總局

重慶の空に贈物

撮影 中文艦隊報道部

この夏以来、わが海空の重慶爆撃は全く熾烈をきめてある。晝夜連続、立てつづけに巨弾の雨を降らせて敵に立直る隙を與へず、今や、敵首都は名状し難い混亂に陥つてゐる。

敵は英米の援助を空頼みして、抗日空軍の再建を叫んでゐるが、たとへ借物の飛行機が層首を並べても「見敵必墜」の精神に徹したわが空軍にどうして抗しえよう。重慶政権が抗日の非を悟るまで、わが空軍の爆撃行は苛責なく続けられるのだ。



ドイツの模型機

その作りかた その飛ばし方

ここに掲げられたのは、盟邦ドイツの代表的な初歩的模型機「グライダー」とその作りかたである。日本の青少年が模型機に親しむ初めるには、最初にドイツの「少國民型」からはじめ、次に日本の「G-1」型を手がけるのがよいと思はれます。

ドイツの「少國民型」はナチス飛行団の標準機で、全ドイツの國民學校とヒトラー・ユーゲンツ模型部の少年達が本格的な模型訓練の第一歩に於いて課せられるものです。また、G-1型は大日本飛行協會が全日本に展開してある模型航空普及の運動のために設計された比較的初歩的の模型グライダーですが、少國民型よりは可成り進んだ構造と性能をもつもので、

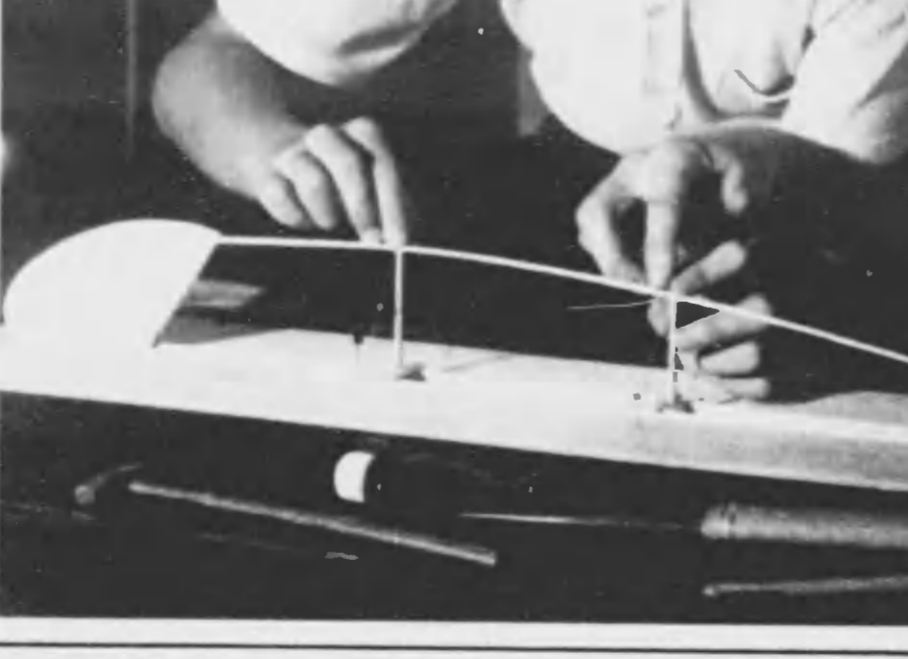
模型グライダーを作る時の心構へは、先づ何をおいても「正確に作る」といふことに全力を集中することです。正確につくるためには次のことを固く守らねばなりません。即ち――

- 一、あせらず、たつぷり時間をかけて作ること
 - 二、設計圖を十分に理解した後に、はじめて工作に移ること
 - 三、工具を十分に揃へ、これを活用すること
 - 四、カンや、出鱈目な手加減によらず、物指し、定規秤などの計器を十分に活用し、むづかしいところでは易しく出来るやうな道具を工夫し、これを作つてから工作にかゝること
 - 五、小さい失敗を胡化さず、何度もやり直して完全なものをつくり上げること
- このやうにして作つたものが飛ばないわけではない。最初から正確に出来上つたものはたとへ外見はよくても遂に「飛ばない模型」となつてしまひます。
- なほ、少國民型とG-1型の設計圖が十二、十三頁に掲載されてありますから、設計圖と寫眞の指導によつて少國民型を卒業できたら、こんどは設計圖とその作りかた(十、十一頁)を見て、自分でG-1型を作つてごらん下さい。
- 東京日日新聞社航空部 淺海 一 男

少國民型の工作指導をしてゐるのはこのほど来訪されたナチス飛行団のローランベルク国立模型航空學校主任教官カール・ニート氏

設計圖の理解が十分出来たらいよいよ作りかたから、先づ圖體から初める、平らな板の上に圖體の圖面を書き、ビンの助けをかりて材料を正確な位置に配置する

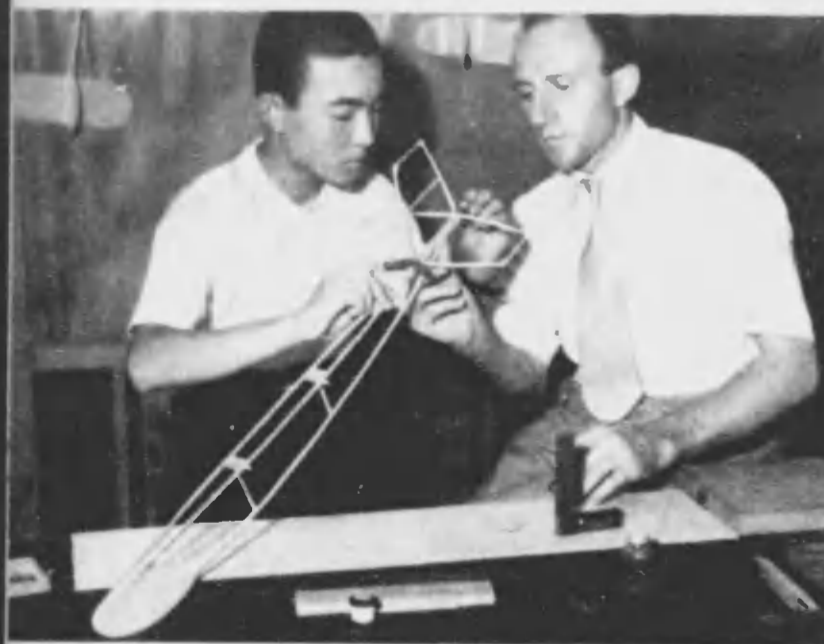
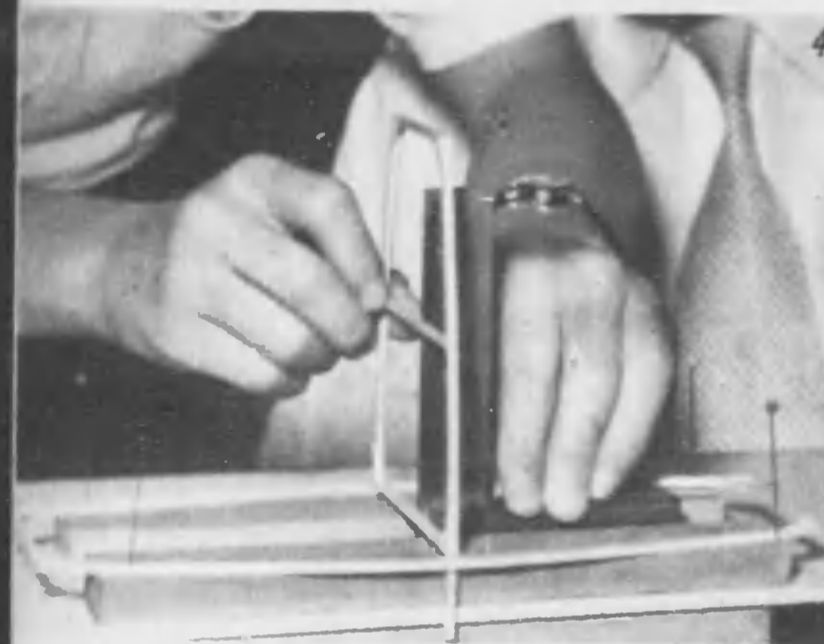
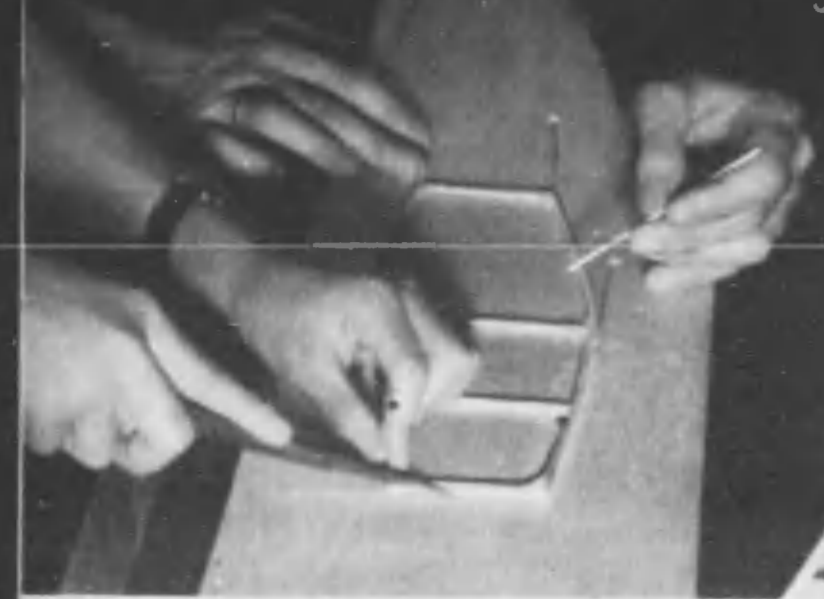
三本の縦通材は四本の肋材と鼻木に接着剤でしっかりと接着させる。この時糸を張つて全體を固定し、接着剤が完全に乾くまで待つ。これで圖體骨組は完成だ



3 次は尾翼、これも板上に圖を書いてその上で仕事をやる。制めに水平尾翼、次に垂直尾翼を水平尾翼の内側にこの時もピンを活用する

4 接着剤が乾燥したら、水平、垂直尾翼を離し、兩者を垂直に取りつける。完全に垂直にするには寫眞のやうに「さしがね」を使ふか、三角定規を使ふ必要がある

胴體に尾翼を取付ける。取付部には接着剤をつけて、洗濯ばさみかクリップで強くしめつけ設置する



て、この自由氣球を何とかして空中を進行させようとして人々はプロペラ又はこれに類似の装置によつて、推進力をえようと考へるに到つた。オート・リリエンタールは鳥類の飛行を仔細に観察し、これからえた知識を基礎として模型航空機を作つた最初の人であり、彼は後年この模型航空機から更にヒントをえてハング・グライダー(吊懸式滑空機)を作りリノーワー山で第一回の試験飛行を行った。しかし彼は一八九六年このグライダーで飛行試験中墜落し、その研究は弟のグスタフ・リリエンタールによつて更に續行されることとなつた。リリエンタールによる飛行原理の研究も、その後數十年の間は餘り世人の注意を惹かなかつた。が一九〇九年になつて、リリエンタールの作つた滑空機を基礎としてゴム動力付模型航空機ができ、これはハンス・グラーデと呼んで最初の試験飛行は極めて成功裡に終了した。一九〇九年第一回の國際展覽會には始めて空中を飛びえた、これ等のドイツ模型機が陳列された。ハンス・グラーデの外にも多くの人々が模型航空機の研究に携るやうになり、この運動は特にハノーヴァーを中心として全國に擴つていつた。

一九一四―一八年の世界大戦中は模型機の發達に就ては何等の新機軸も出なかつた。飛行機に似た模型が若干製作されたが、その中で「エトリッヒ・タウベ」が最も優秀であつた。

一九一九年ヴェルサイユ條約により獨逸は發動機付飛行機を作ることはおろか、模型航空機の製作に従事する團體を作ることも全面的に禁止された。しかしドイツ人持前の空軍飛行士達と、ドイツの青少年を飛行精神に燃え立たせようとする勢力とは相俟つてヴェルサイユ條約の苛酷さをもつても厭服することのできない飛行の新分野を開拓するに到つた。即ち發動機付飛行全面的擴張のさ中であつて、無發動機の帆走飛行が生れ出たの

強い空軍を育てあげた ドイツ模型機航空機

グスタフ・ベンシユ
人類はこの世界に出現すると同時に大空への憧れを抱いたもので、その歴史は極めて古

グスタフ・ベンシユはナチス飛行団の模型航空部長で、ドイツ模型機航空の第一人者である。ニート氏と同じく先般來訪、現在大日本飛行協會の囑託として、わが國模型機航空界の發展に協力されてゐる



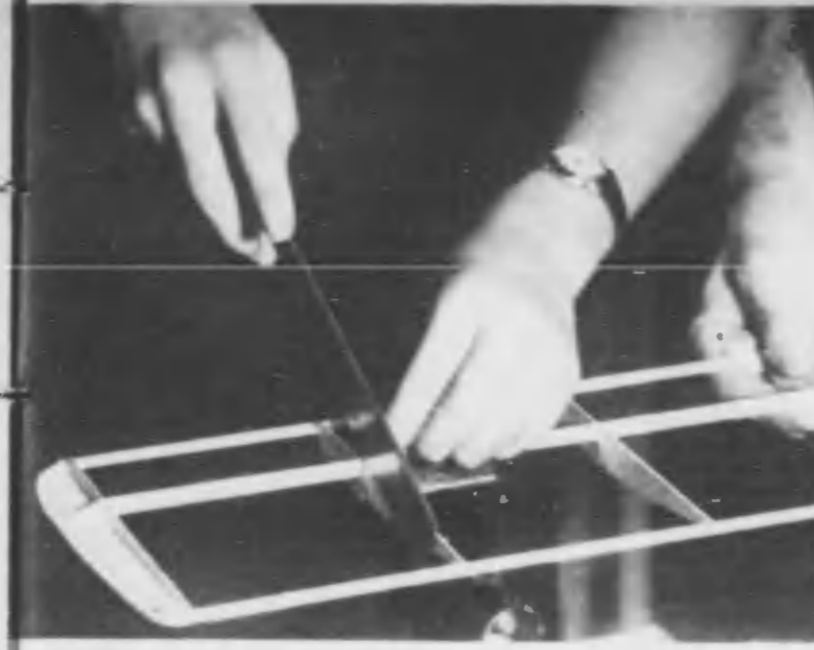
いよいよ主翼の工作だ。先づ小骨の製作、標準になる正確な小骨を二枚小刀でつくる。



二枚の標準小骨の間に薄く切り取った小骨五枚をはさみ、両力にはさんで小刀とやすりで一度に五枚を仕上げます。



乾いたら翼端の上反角をつけるために主桁、前後縁の翼端部を細く切れる目を入れる(切つてしまふのではない)



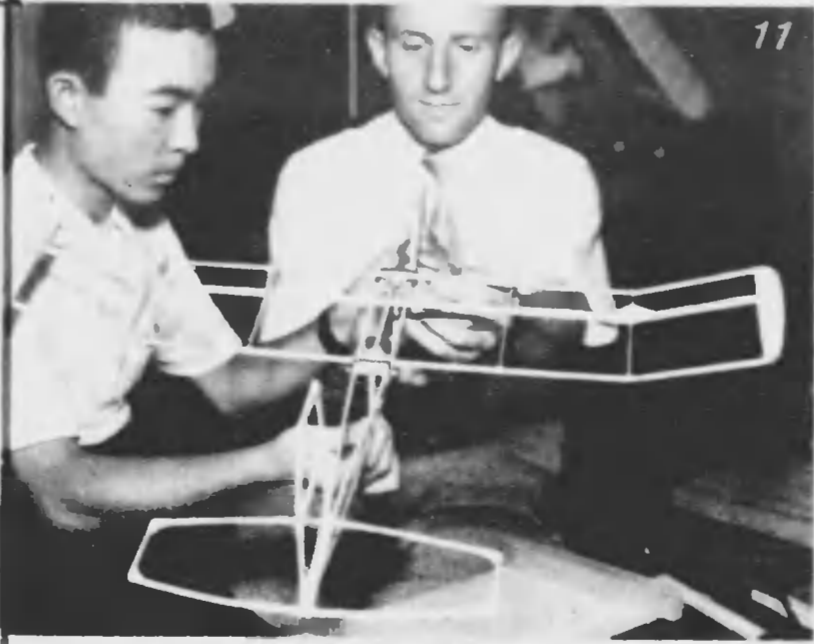
上反角を左右同様に正確につけるには寫眞のやうな「枕木」を使ふことが必要。いゝ加減なめ見當は許されぬ。



主翼の組立だ。矢張り板上に鋼を書きピンを活用して主桁前後縁等を固定しておき、さきに出てゐる小骨をはめ接着剤で固定する。



骨組はこれで完成、一度組立て、見て、前から横から後ろから、あらゆる方向から見て狂ひが出てゐないかを厳重に検査する。



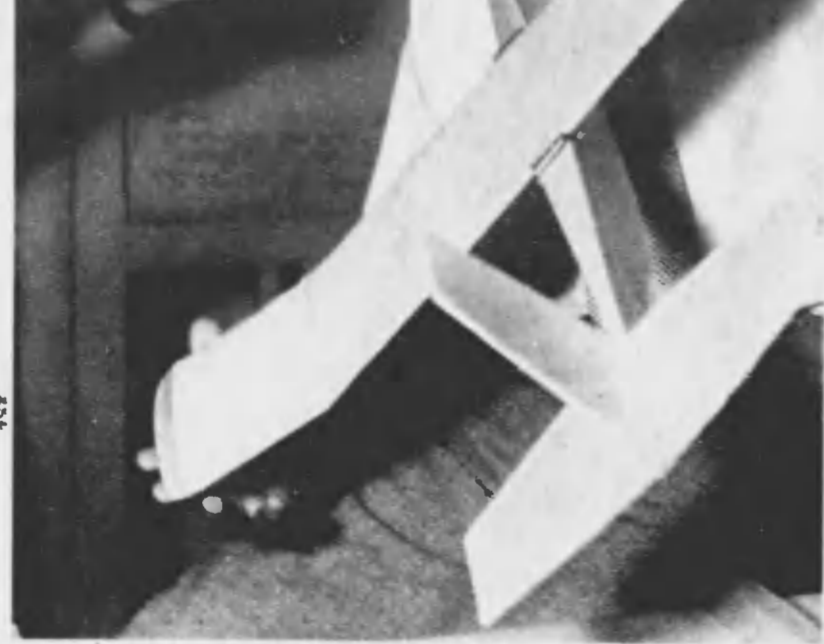
糊が乾いたら翼を吹く。これは副機尾翼部、主翼と別々に行つてもよい。



72

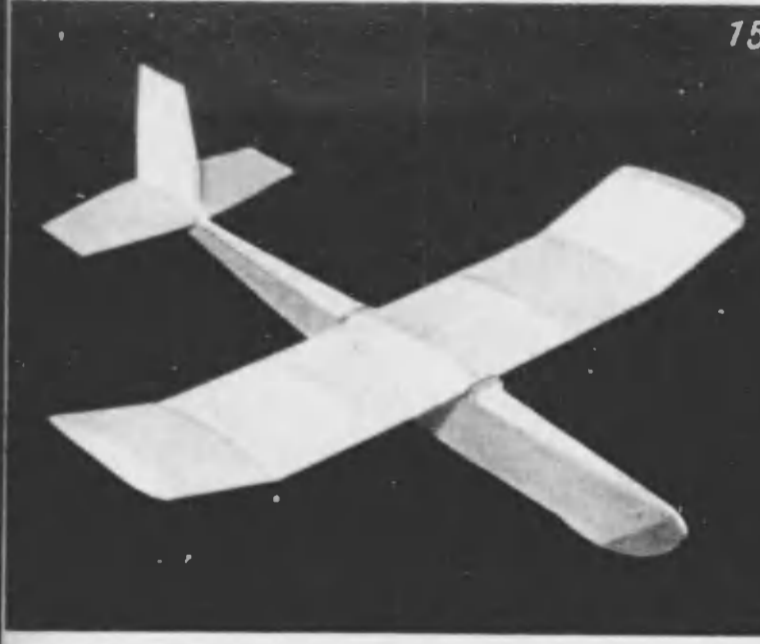


73



最後の仕上げは重心の調節だ。主翼の桁のところで機體を支へて見て胴體の上部縦線が水平よりほんの少し前に傾むくやうにしなければならぬ。機首がうんと下るなら鼻木を少し削つて軽くし、尾部が重過ぎれば鼻木に重量物をつけ加へて調節する。

75



である。帆走飛行士の聖地ワサッカッパにはドイツ空軍飛行士、學生、技術家等續々と集つた。帆走飛行の父オースカー・ウルチヌは空への情熱に燃える全ドイツ青少年に對して、ヴェルサイユ條約の有無に拘らず、航空思想を喚起し、發動機を付けていけないならば、發動機なしで飛行しようではないかと、大いに機を飛ばした。模型グライダーの製作もこゝに始めて生れ、エスベンラウフ、リビッシェ、マルテンス、シュターマその他の人々の協力によつて、次第に發達を遂げるやうになつた。かうして、實際飛行しうる模型が作られて後、非常な努力は不自由を克服して滑空機を製作し、その第一回試験飛行は見事に成功した。帆走飛行士の中でも、フェルディナンド・シュルツは特に技藝の成績を示し、一九二三年には、彼はその「ペーセンシュテイル」號を翔つて八時間二十四分といふ驚異的な記録を樹立した。

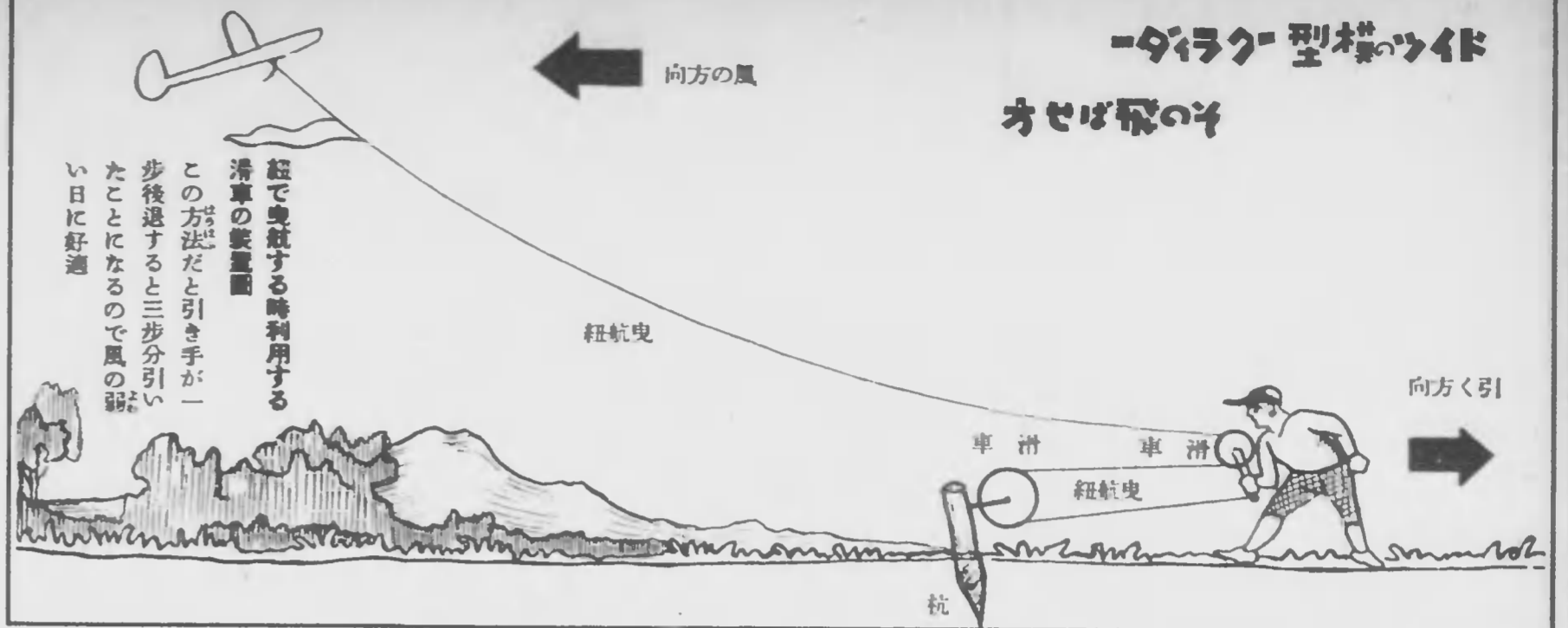
一方、模型グライダーではゴム動力付模型も製作されるやうになり、その主翼は片側だけ羽布を張り、物凄く多数の張線で胴體に結びつけられてゐるものであつた。一九二四年になると、中部ドイツでは再び、前回より大掛りな第一回競技大会が開催され、ゴム動力付模型航空機で、滑空二分間以上、距離五〇〇米以上の性能を上げるものもでてきた。模型飛行スポーツ特に模型グライダーは絶え間ない研究によつて非常に發達し、特別に模型グライダーだけの競技會を開催することが必要となつた。第一回模型グライダー競技全國大會は一九三〇年ワッサクッパで盛大に行はれた。一等賞を克ち得たのはホルスト・ウインクラーで、機體は自作の大型「ウインクラー」であつた。この後も模型グライダーの研究は引續き行はれ、飛行時間も一時間以上に達するやうになつた。ナチス・ドイツの出来た一九三三年になると模型飛行機運動は更に新しい様相を呈して來た。この頃までは模型飛行機は多くは大

人によつてスポーツとして行はれてゐたが、この後は青少年が行ふやうになつた。模型を通じて廣汎な範圍にわたつてドイツ青少年の頭の中に航空思想を吹込むのは大變有効であつた。一九二七年になると始めて、ゴム動力付模型航空機の第一回全國競技大會が開催された。その後は長足の進歩をなし、一九三六年になると、最初のガソリン・エンジン付模型機の飛行が西部獨逸航走飛行學校のボルケン山で行はれた。自動操縦装置及び遠距離操縦装置付模型も製作され、全國大會の際優秀な成果をあげた。なほ研究議題の中には特に羽搏飛行が取り上げられてゐる。飛行機製作技師リビッシェは又これに特別な貢獻をなし、ガソリン・エンジン付羽搏飛行機で十六分間以上の滑空記録を樹立した。

今次の大戦でもヒトラー青年團内の模型飛行機研究の進歩發達は、些かの小やみもなくつゞけられてゐる。模型飛行は、軍隊入隊前の飛行士養成の一助として豫期以上に役に立つといふその任務の重責性を考へると、今次戦争勃發以來、その價値は更に倍加したといふべきであらう。ドイツ青少年の飛行熱を燃え立たしめ、飛行精神を把握せしめるといふことはこのナチス・ドイツにおいてどんなにしても達成しなければならぬことでもあり、今後ドイツ青少年を軍隊入隊前に飛行教育を施す上にならなければならないことである。更にこの國家的努力と並行してその高性能を發揮させる努力もつゞけられてをり、模型飛行機に關する最近の記録も左の如く向上してきてゐる。

「タラク」型機のついで

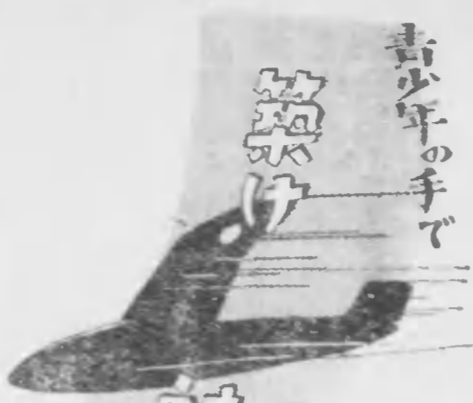
オセバ機のついで



狭いところで飛ばしてはならぬ。野外に出よ、太陽の輝くひろくとした野外へ！
手から放す方法。風上に向つて投げる。上向きに投げたはいい。といつて餘り下向き過ぎても駄目、ほんの心持ち下向きがよい
この調子（寫眞1）だが、力を入れ過ぎると上昇してすぐ墜落する、力が足りないとも墜落、なだらかに五、六メートル先きに着陸するやうになるまで力の入れ加減を自分で研究する
今度は紐で曳航する方法。先づ草をむしつて投げてみる（寫眞2）。草が風に吹き飛ばされる方向を見て風の向きをしらべ、グライダーを持つ者は風下に、紐を引つる者は風上に位置する。持ち方は（寫眞3）の通り準備が出来たら双方手を上げて合図をする。下ろすと同時に引手は引きはじめ持ち手は軽く機體を離す。この時グライダーを押し出してはならぬ。グライダーは風のやうにグン／＼昇る。引き手から見ると六十度位の高さに昇つたら引く速度を静かにゆるめ、紐がひとりでに機體から離れるのを待つ



青少年の手で



航空回廊



こんどの歐洲大戰は航空機の威力を十分に教へてゐる。陸海軍共に航空機がなければ戦争に勝つことの出来ないことが明らかにされた。航空機が汽車や汽船と比較して、十倍以上の速度をもち、地形等に妨げられずに、数千キロメートルの距離を飛んで眼下の敵艦を自由に偵察し、敵軍を爆撃し得ることとは、近代兵器として他に比較し難い威力である。

一國の航空勢力の消長は、實

に國家の勢力の消長のバロメーターであるといひうる。この航空勢力を確保するには、優秀な技術をもつた操縦士や機師十名の航空勤務者を多数養成すること共に、優秀な性能のある航空機を多数作らなければならない。しかし、優秀な航空機を作るには、やはり多数の優秀な航空機製作技術者が必要である。素人のよい人をできるだけ多く航空界に向け、これを十分に訓練することが航空勢力を擁護するために必要である。だから航空に對して興味と理解とをもつてゐる多数の青少年を得ることは、現下わが國防上喫緊の要務である。これがためには、

民學校の兒童に、まづ、航空に関する正しい知識を修得させ

ることが是非とも必要である。その實際の方法として、國民學校では各學年それぞれに航空科工作の中で、模型航空機を製作させ、さらにこれを飛ばさせる。その構造や航空の原理を學ばせることになつてゐる。これと同時に理科及び算數或は國史及び國語等の各科目と關聯させて、航空や防空等の空に關する知識を授け、飛行について大いに興味を抱かせるやうに仕向けてゐる。七、八、九、十、十一、十二の各級に於いては、模型航空機は實物の航空機に比べてその形も甚だ小さく、構造も簡單であるが、その根本となる原理には何等變りがないから航空の原理を教へるには極めて適當である。だから國民學校で模型航空機を作らせてゐるのは唯進んでない。またその作品も單に玩具ではなく、立派な航空教育上の製作品である。次に、

中

等學校では、第三學年以上で滑空訓練を行ふのである。これは十數人の學生が同一一致の精神をもつて滑空機を飛行させるのであるから、團體精神の涵養に

資することが多く、また滑空によつて心臓を練り、身體を鍛磨し、さらに理科的知識、特に模型飛行機で修得した原理を實際に體驗するのにも甚だ適してゐる。殊に航空の體驗に依つてますます航空に親しみを感じ、航空機に興味を抱かせることになつてゐる。滑空訓練は操縦することのほかに、なほその製作を行ふのであつて、現に滑空訓練を實施してゐる中等學校は全國で六百校に近く、數千人の生徒が、この訓練を受けてゐるのである。操縦の方法は航空機とはほとんど同様であるから、滑空機の操縦術を修得した者には、航空機の操縦術を修得することには甚だ容易である。また滑空機の構造は航空機と似てゐるので、その製作法、整備法等は、航空機の製作と整備との基礎教育になる。ドイツやロシアの強大な航空勢力は、模型航空機や滑空機に依つて訓練された青少年を基礎にしてでき上つたものである。

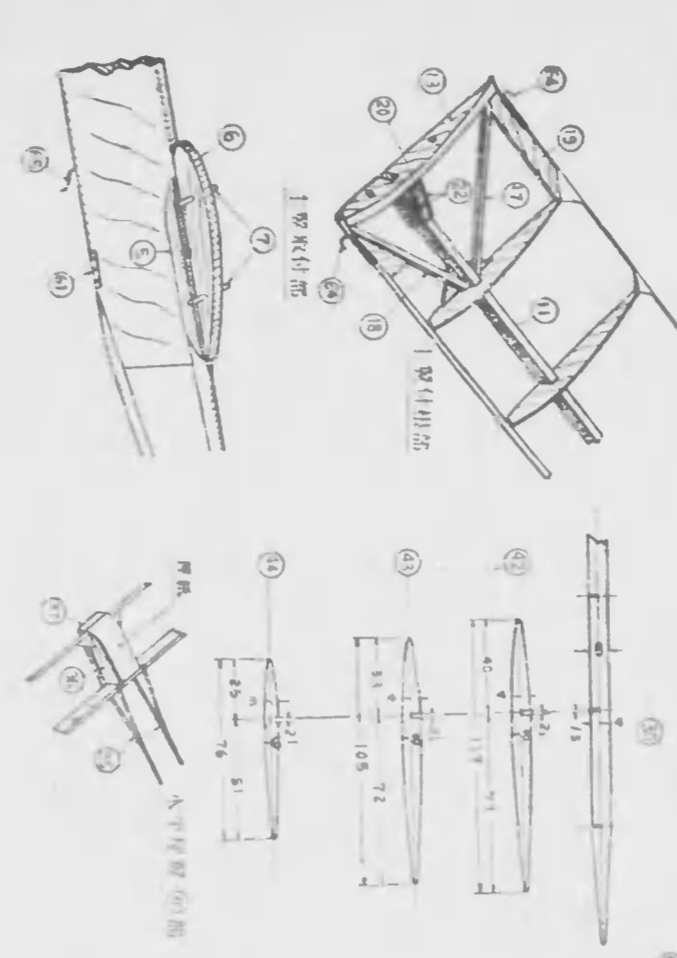
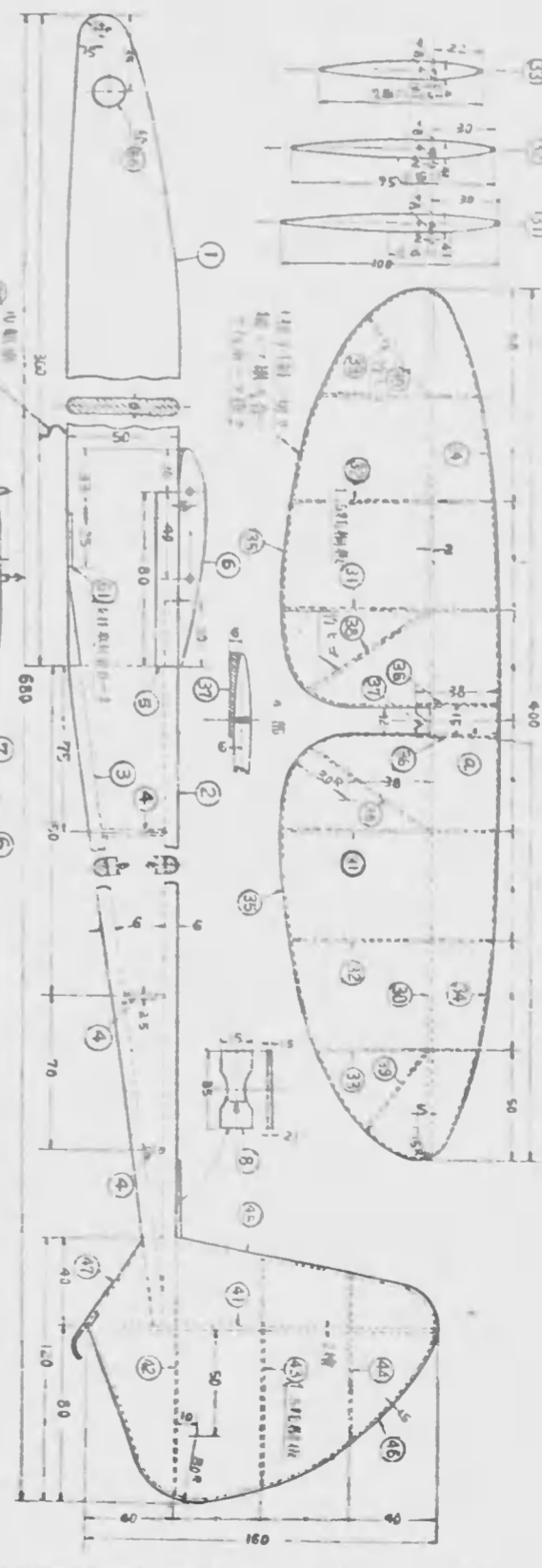
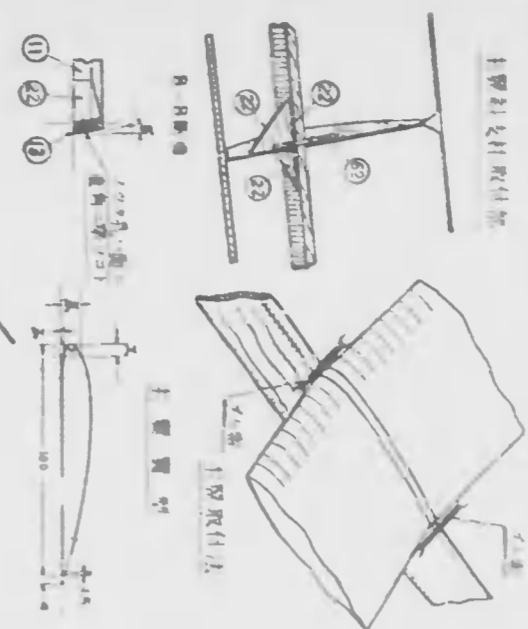
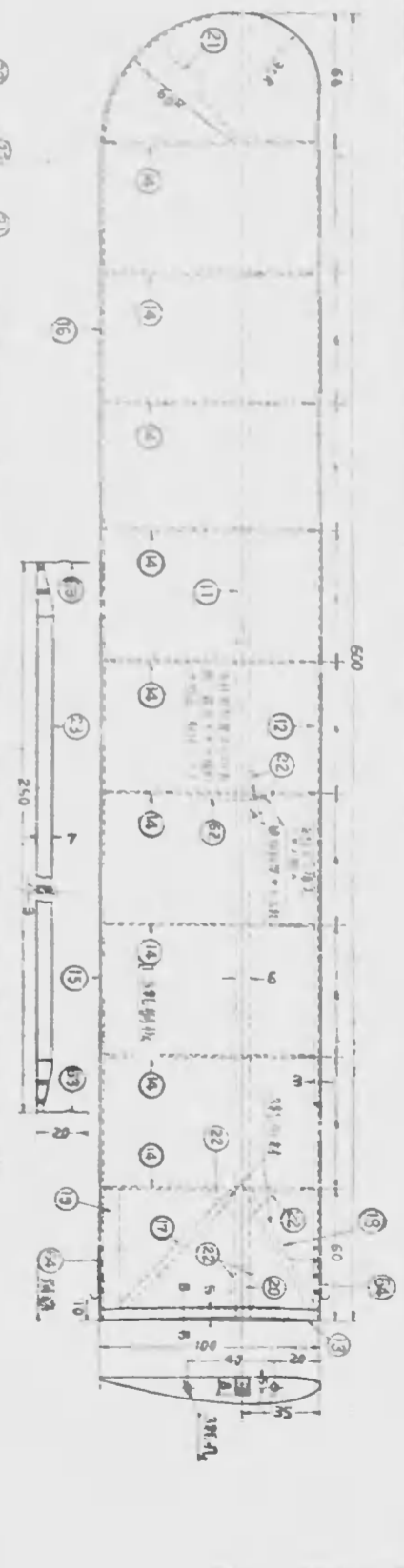
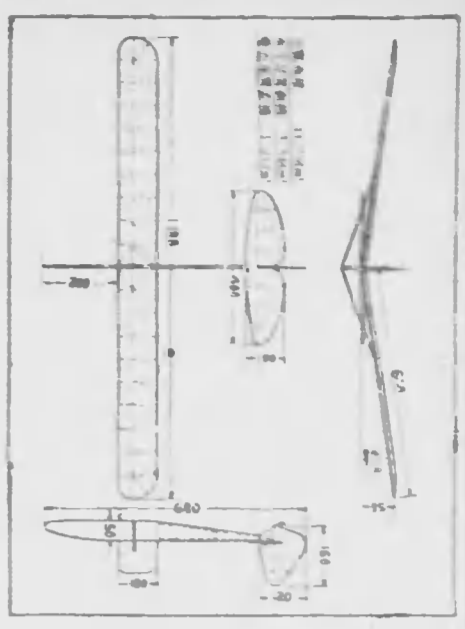
航空には優秀な技能と明敏な頭腦とのほかに、強健な能力と

旺盛な上氣とを必要とし、更によく困苦缺乏に堪へる意力と、盡忠報國の精神に燃えた熱情とが肝要である。

わ

が國青少年の航空教育は模型航空機の製作や滑空訓練等によつて計畫され着々と實施されてゐるが、航空界の實際は時時刻々に進歩してゐるから、今後一層努力してこれを改良進歩せしめることが必要である。しかし、航空に關するあらゆる科學や技術が如何に發達しても、その根幹となるものは、實に國民全體の航空に對する理解と熱意とでなければならぬ。殊に、明日の日本を雙肩に擔ふ青少年は、航空の重要性を十分に認識して、將來、まづ、學理の研鑽に努め、これを科學的に發達させると共に、いよ／＼盡忠報國の誠を致して眞の國力の充實を圖らなければならない。世界に冠たるべき明日の「航空日本」の建設は青少年の航空熱を正しく發展させることにより初めて得られるのである。

（文部省體育局訓練課）

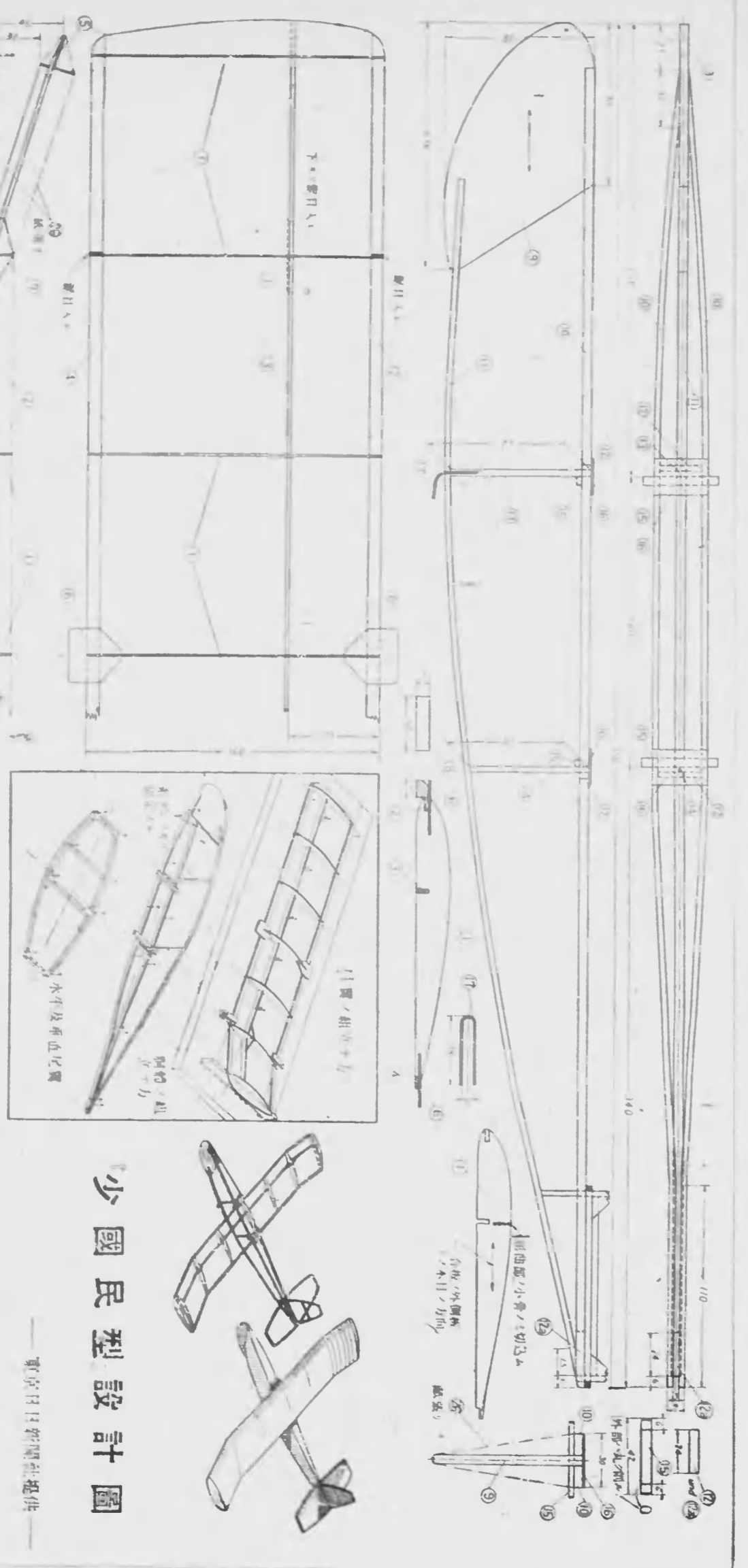


Q-1型設計圖 東京日日新聞社提供

部名	材料	寸法	重量
1 主翼	木	1100x100	150
2 副翼	木	1100x100	150
3 尾翼	木	1100x100	150
4 機首	木	1100x100	150
5 機身	木	1100x100	150
6 脚輪	鉄	1100x100	150
7 脚輪	鉄	1100x100	150
8 脚輪	鉄	1100x100	150
9 脚輪	鉄	1100x100	150
10 脚輪	鉄	1100x100	150
11 脚輪	鉄	1100x100	150
12 脚輪	鉄	1100x100	150
13 脚輪	鉄	1100x100	150
14 脚輪	鉄	1100x100	150
15 脚輪	鉄	1100x100	150
16 脚輪	鉄	1100x100	150
17 脚輪	鉄	1100x100	150
18 脚輪	鉄	1100x100	150
19 脚輪	鉄	1100x100	150
20 脚輪	鉄	1100x100	150
21 脚輪	鉄	1100x100	150
22 脚輪	鉄	1100x100	150
23 脚輪	鉄	1100x100	150
24 脚輪	鉄	1100x100	150
25 脚輪	鉄	1100x100	150
26 脚輪	鉄	1100x100	150
27 脚輪	鉄	1100x100	150
28 脚輪	鉄	1100x100	150
29 脚輪	鉄	1100x100	150
30 脚輪	鉄	1100x100	150
31 脚輪	鉄	1100x100	150
32 脚輪	鉄	1100x100	150
33 脚輪	鉄	1100x100	150
34 脚輪	鉄	1100x100	150
35 脚輪	鉄	1100x100	150
36 脚輪	鉄	1100x100	150
37 脚輪	鉄	1100x100	150
38 脚輪	鉄	1100x100	150
39 脚輪	鉄	1100x100	150
40 脚輪	鉄	1100x100	150
41 脚輪	鉄	1100x100	150
42 脚輪	鉄	1100x100	150
43 脚輪	鉄	1100x100	150
44 脚輪	鉄	1100x100	150
45 脚輪	鉄	1100x100	150

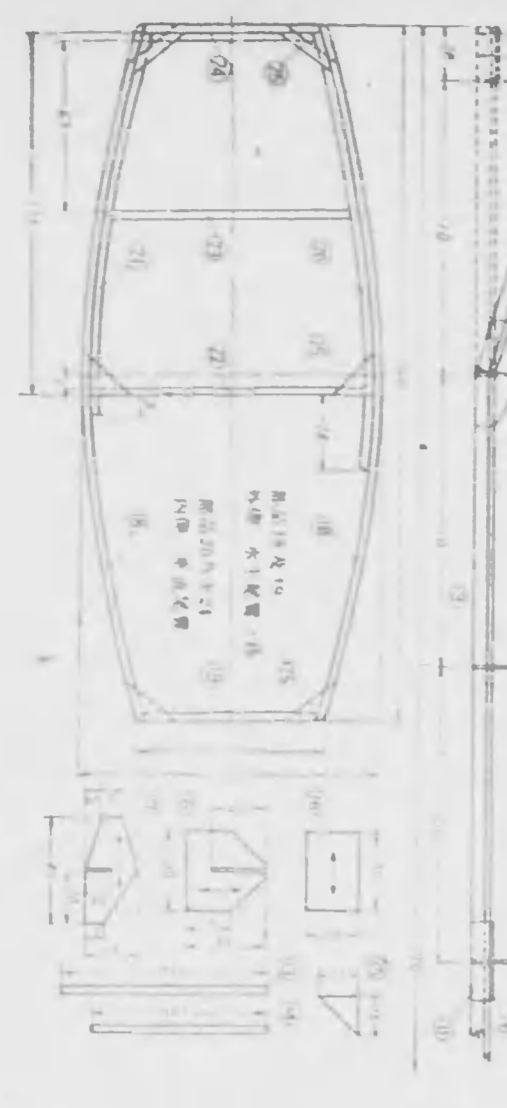
主翼断面座標

座標	寸法	重量
1	1100x100	150
2	1100x100	150
3	1100x100	150
4	1100x100	150
5	1100x100	150
6	1100x100	150
7	1100x100	150
8	1100x100	150
9	1100x100	150
10	1100x100	150
11	1100x100	150
12	1100x100	150
13	1100x100	150
14	1100x100	150
15	1100x100	150
16	1100x100	150
17	1100x100	150
18	1100x100	150
19	1100x100	150
20	1100x100	150
21	1100x100	150
22	1100x100	150
23	1100x100	150
24	1100x100	150
25	1100x100	150
26	1100x100	150
27	1100x100	150
28	1100x100	150
29	1100x100	150
30	1100x100	150
31	1100x100	150
32	1100x100	150
33	1100x100	150
34	1100x100	150
35	1100x100	150
36	1100x100	150
37	1100x100	150
38	1100x100	150
39	1100x100	150
40	1100x100	150
41	1100x100	150
42	1100x100	150
43	1100x100	150
44	1100x100	150
45	1100x100	150



少國民型設計圖

東京日日新聞社提供



番號名	構造	材料	寸法	重量
1 主翼	木	1100x100	150	
2 副翼	木	1100x100	150	
3 尾翼	木	1100x100	150	
4 機首	木	1100x100	150	
5 機身	木	1100x100	150	
6 脚輪	鉄	1100x100	150	
7 脚輪	鉄	1100x100	150	
8 脚輪	鉄	1100x100	150	
9 脚輪	鉄	1100x100	150	
10 脚輪	鉄	1100x100	150	
11 脚輪	鉄	1100x100	150	
12 脚輪	鉄	1100x100	150	
13 脚輪	鉄	1100x100	150	
14 脚輪	鉄	1100x100	150	
15 脚輪	鉄	1100x100	150	
16 脚輪	鉄	1100x100	150	
17 脚輪	鉄	1100x100	150	
18 脚輪	鉄	1100x100	150	
19 脚輪	鉄	1100x100	150	
20 脚輪	鉄	1100x100	150	
21 脚輪	鉄	1100x100	150	
22 脚輪	鉄	1100x100	150	
23 脚輪	鉄	1100x100	150	
24 脚輪	鉄	1100x100	150	
25 脚輪	鉄	1100x100	150	
26 脚輪	鉄	1100x100	150	
27 脚輪	鉄	1100x100	150	
28 脚輪	鉄	1100x100	150	
29 脚輪	鉄	1100x100	150	
30 脚輪	鉄	1100x100	150	
31 脚輪	鉄	1100x100	150	
32 脚輪	鉄	1100x100	150	
33 脚輪	鉄	1100x100	150	
34 脚輪	鉄	1100x100	150	
35 脚輪	鉄	1100x100	150	
36 脚輪	鉄	1100x100	150	
37 脚輪	鉄	1100x100	150	
38 脚輪	鉄	1100x100	150	
39 脚輪	鉄	1100x100	150	
40 脚輪	鉄	1100x100	150	
41 脚輪	鉄	1100x100	150	
42 脚輪	鉄	1100x100	150	
43 脚輪	鉄	1100x100	150	
44 脚輪	鉄	1100x100	150	
45 脚輪	鉄	1100x100	150	

航空断想



はばたく 学生航空陣

赤とんぼを思はせる小さなま
い可愛い飛行機十二機が青い空
のやうに平かなそして飛ぶやうな
飛行機につくましく一機に列ん
でゐる。初夏らしい爽やかな風
が心地よく肌をかすめ、朝の太
陽はキラキラと輝いてゐる。やがて
一斉に發動機がはじめたと
思ふと、すうと二、三機づつ、
の塊となり軽やかに滑走しは
じめ何の雑音もなく空中に浮き
上つてゆく。未だ一と無雑作
に！無表情に！無言に！丁度
水邊に遊んでゐた水鳥が、遊び
に飽いてもう歸らうといつて飛
び立つたかのやうに！

これは八月三十日の飛行學
校で飛行訓練の學業の成績が
約〇週間の合計訓練を経て、今
や東京飛行場に歸る飛行訓練所
の學生航空聯盟飛行訓練生の一
群なのである。編成一連十二機の

見事な編成で西へ、と淡い
霧の中に姿を没してゆく。

自分が飛行をはじめたのは大
正三年工兵少尉二十六歳の折、
徳川大尉(當時)から驚愕な手紙
どきを受け、それより長い事單
独の操縦に専念しつゝけて来た
編成飛行をやつてみようとい
ふ氣になつたのは、實に大正八
年佛蘭のミッション・ホール大
佐一行が来てからで、これがど
ちやら普及して見られるやうな
編成の型が出来上つたのは、ま
づ大正十五年頃であらうと思
ふ。かうしてみると飛行機をは
じめて、編成飛行ができるまで
實に十二年を要した事になり、
全くお話にならない。然し、
今は在學中の學生生徒が日暗や
祭日利用の飛行訓練で、而も僅
か三年、いはば片手間の飛行訓
練で何の苦もなく、堂々十二機

の編成で青空を馳騁する。何が
かくするの。これは實に人生
に二度することのない若さであ
り青春である。若さは若さであ
り必要であるが、飛行訓練には
特に若さが必要である。現實に
少年航空兵出身の若者は、陸に
も海にも轉々の武勳を輝かしつ
つゝあるは、世人一般の知る所
である。この源は若さの中に修
めた飛行訓練の賜である。學校
卒業後の飛行訓練では時期遅し
である。中年からはじめた仕事
は身につき難い、若いうちに修
業することが第一である

自分たちが飛行機をやつてゐ
た時代は、まだ物珍らしい時で
あつて、その道にたづさはる人
は強く少数であつた。従つて
教へを受けやうがない。しか
たなしに難解な外國雜誌や原書
を辭書と首引きで自己流に讀ん
で、漸く想像する位であつた。
従つて航空の規則も、
て頭をこらさず、心算快等と
いふことは一日もない。行けど
も行けども苦勞を極し、本職
事項を地すといふおれであつ

た。従つて編成飛行に十二年要
するも無理はないと思ふ
航空の關係する所は誠に廣
く又深い。操縦といつても、
航法、氣象、發動機、機體、
取扱ひ、航空衛生、航空法規等
と尋へきれない。又技術の方
は設計製作、材料の學問、電氣、
油、計器、塗装、裝飾、耐熱、
耐寒、武裝、航空衛生、航空糧
食、航空被服、飛行場施設等で、
かななる法律も經濟も必要と
なり實に現科學の最高を目標
して飛進することを要するのである
昔はよく經濟的といふ言葉
があつたが、苟くも飛行機の性能
向上のためには、精神、物質、
共にあらゆる犠牲を拂ふとも耐
せぬ覺悟が必要である
かくの如く、航空の關係する
所は廣汎にして、少數の人だけ
ではどうにもならないのであつ
て、國民一般に深く播種し、深
く浸透せしめるの必要を痛感す
るのである



泰國のグライダー熱

灼熱の太陽が終日照りつけ
る盛夏の國、泰國にも今やグ
ライダー熱が高まり、泰空軍を
創設するに及ぶ。

ユアチン(青少年團)は滑空
訓練に大奮となつてゐる。先
進國たる我が國に課せられた泰國

グライダー指導の大任を、朝日
新聞社が引受けて、滑空機三機
と共に指導隊を送つたのは、つ
い先頃のことである。私もその
一員に選ばれて約二週間のパン
コクに滞在し、指導の任に當
つた。空軍選り抜きのサナン大
尉始め七名の講習生の熱と意氣
は特筆大書すべきものがあつ
た。總てのものを、燒盡すやう
な豪天下に數十名の兵は實によ
く奮闘した。「用意」の號令がか
かる。座席に腰を落つけてパン
ドを締める。手足を均衡に保つ
て前方を見つめる。「引けろ」十
數名の兵がゴム索を引いて走
る。「放せ」の號令がかかるま
での數秒間、操縦者は生死を越
越し、無我の境地に到達する。
「放せ」グライダーは大地を離
れ、中空高く舞ひ上る。幾分上
氣するのだから、眞黒な被等の
類にも紅がさす。八日間プラ
イマリーからソアラの飛行機
曳行まで悉く完了し、宙返りを
始め各種特殊飛行を自由自在に
できるまでになつた彼等の技
術は、優秀といふべきであら
う。或る者は地上昇風の捕捉
に進み、長時間滞空した者もあ
つた。國民は初めて見るグライ
ダーに多大の憧憬と熱望を抱
き、その熱狂ぶりは當時新聞
紙上で報道された通りである。

グライダーは會員の協力一致
つて始めてできるもので肉體と
精神の何物にも優る訓練であ
る。またこれ程興味深く健康的
なものはない。グライダーの操
縦は飛行機と全く同式である。
従つてこれは飛行機の準備訓練
となるのみならず、グライダー
それ自身が、大きな軍事的價値
を有する事だ、今次歐洲大戰に
おいて、ドイツのクレタ島にお
けるグライダー作戦を知る者は誰
でも首肯し得るところである。
高度國防を叫ばれつゝある今
日、グライダー訓練の重要性を
認められる所以は、實にこゝにあ
るのである。泰國が我が國のグ
ライダーに着目し追従して來
たのも、宜なるかなである。泰國
は平地の大部分が水田であり、
山岳地帯は殆んど人跡未踏の
ジャングルである。しかし太陽の
直射が烈しいから熱による上
昇風は猛烈盛んで、滑空にはも
つてこの好條件である。朝雲
霞に乗つて盤谷に飛込む日、安
南山脈を越えたと各所に格好の
積雲が浮び、相當猛烈な上昇氣
流を感じ、私等は驚喜したのも
だつた。五月から十月までの雨期
には毎日必ずスクロールがやつ
てくる。盆を覆すやうな雨であ
るが、遠くの空は明るい。この
スクロールの前面には、前線



速度と朝食

交通運輸の機關が發達する
につれて、時間と距離に對する
相關概念が變つてくるといふ
ことは當り前のことで、何も事
新らしくいふほどのことでもな
いが、飛行機が使はれるやうに
なつてから、それが非常な變り
方をしたやうに思はれる。どん
なわけであつたか一口にい
ふと、われ／＼が立體的に空間
を利用することが可能になつた
といふことなのであらうが、物
事が平面的に立體になつたとい
ふことは生やさしい變化ではな
い。運動の自由度が一つ増へた
といふことなのであらうが、大したも
のである
翼を得て空中を飛ぶことが
出来るやうになつたといふこと
は、地上の束縛から完全に開放
されることであつて、空のあり
かた味、地上の不自由さは飛行

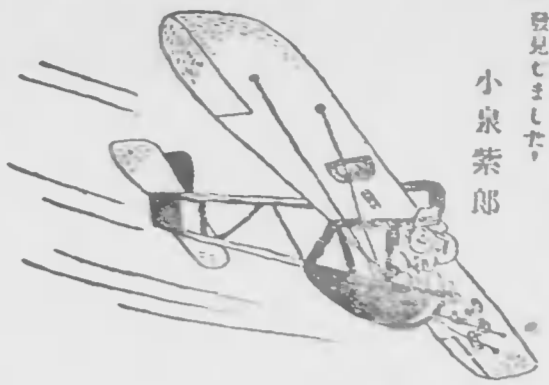
雨雲に打たれて、ジャングル
の上を悠々滑翔する事は噴噴
快であらう。今や泰人の泰國
建設に邁進しつゝある秋、彼等
青少年層に我が國の滑空技術と、
精神が深く根を下し、日を追う
て、發育しつゝあるのである
(朝日新聞記者 長友重光)

機によつて始めて體驗として知
ることが出来るのである。一度
飛行機を利用したことのある人
は異口同音「地上の乗物など馬
鹿らしくて乗れない」といふ
かうして、交通運輸の機關は
道路による線的(鐵道がその代
表的のものである)のものから、
海上による面的のものとなり、
今や空中を利用する立體的のも
のにまで發展しつゝある。
飛行機はまだ一進歩する。
今までの例に見ても新らしい試
みであるとか、記録的の性能で
あるとか、一寸と見ると實用と
は縁遠いやうなもの、數年なら
ずして何時の間にか實用に供せ
られるやうになつて來るのであ
つて、「實用的見地からは……」
など、論議してゐるうちに物が
どしどし出來てくる有様であ
る。だから、明日の飛行機を知

大空に立つ。

尾鷲の少年航空隊が大木の後に、風船の影を捉えて見ました。

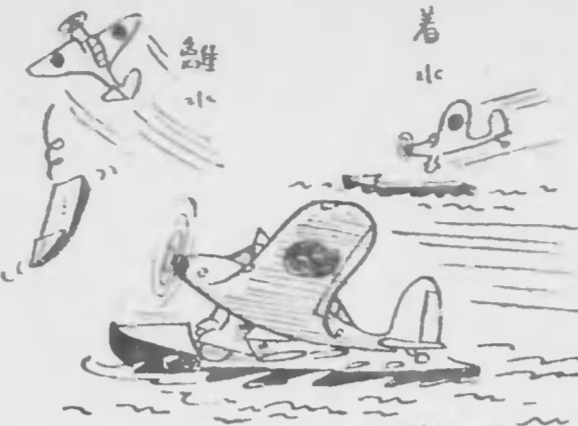
小泉紫郎



新兵器着水スリッパ

南義郎

陸上機専用でこんなのはいかげん、けいたい出来れば御馳走



画漫空航作合

妙技!

森能 猛



三ツ児の母三機編隊を見て……杉 証夫

「貴方、三人共飛行士になると丁度いいわよ」

真実の報告

〔問〕 昨年催された全日本模型航空機競技大会は今年もありませんか。また参加機はどんな種類ですか

〔答〕 今年も九月二十一日に、内地、北海道、神奈川、愛媛、朝鮮の各道府縣廳所在地で行はれます

参加機の種類は、
A級 大日本飛行協会公認A-1型
B級 同上G-1型
C級 自由型

競技科目は滞空時間、高度、速度、この外に東京と大阪間はカソリンエンジン機の滞空競技も行はれます

〔問〕 模型航空機の日本最高記録はどれくらいですか

〔答〕 昨年の第一回全日本模型航空機競技大会で公認された記録は、初めての日本記録で、次のようになります

- A級 (A-1) 滞空時間二分八秒三
- B級 (B-1) 直線距離三・八米
- C級 (C-1) 滞空時間二分五秒一
- D級 (D-1) 滞空時間一分四秒五

大日本飛行協会

足らずで、殊に相當の高さを東に向つて飛ぶとすれば、西風が追子となつて助けてくれるから東京、ニューヨークを十五時間以下で飛ぶことが可能であらうさうなると面白いことにな

る。例へば、今朝の八時に東京をたてば、東京時間で夜の十一時にはニューヨークに着く。東京時間の午後十一時は、ニューヨークでは同日の午前九時である。だから東京で今日の朝食をすまし、今日の新聞を讀んで飛行機に乗り込んで、ニューヨークに着いて見ると、ホテルには同じ日の朝食と、同じ日の新聞が再び用意されてゐるわけだ、日記に書ければ東京からニューヨークまで一時間しかかからなかつたことになる

もう少し飛行機が速くなれば、日付が逆になつて、今日たつて昨日着いたといふやうな矛盾も起り得ることになる。何れにせよ、時と距離の相關概念は大分變つたものになる。將來もつと一變でであらう

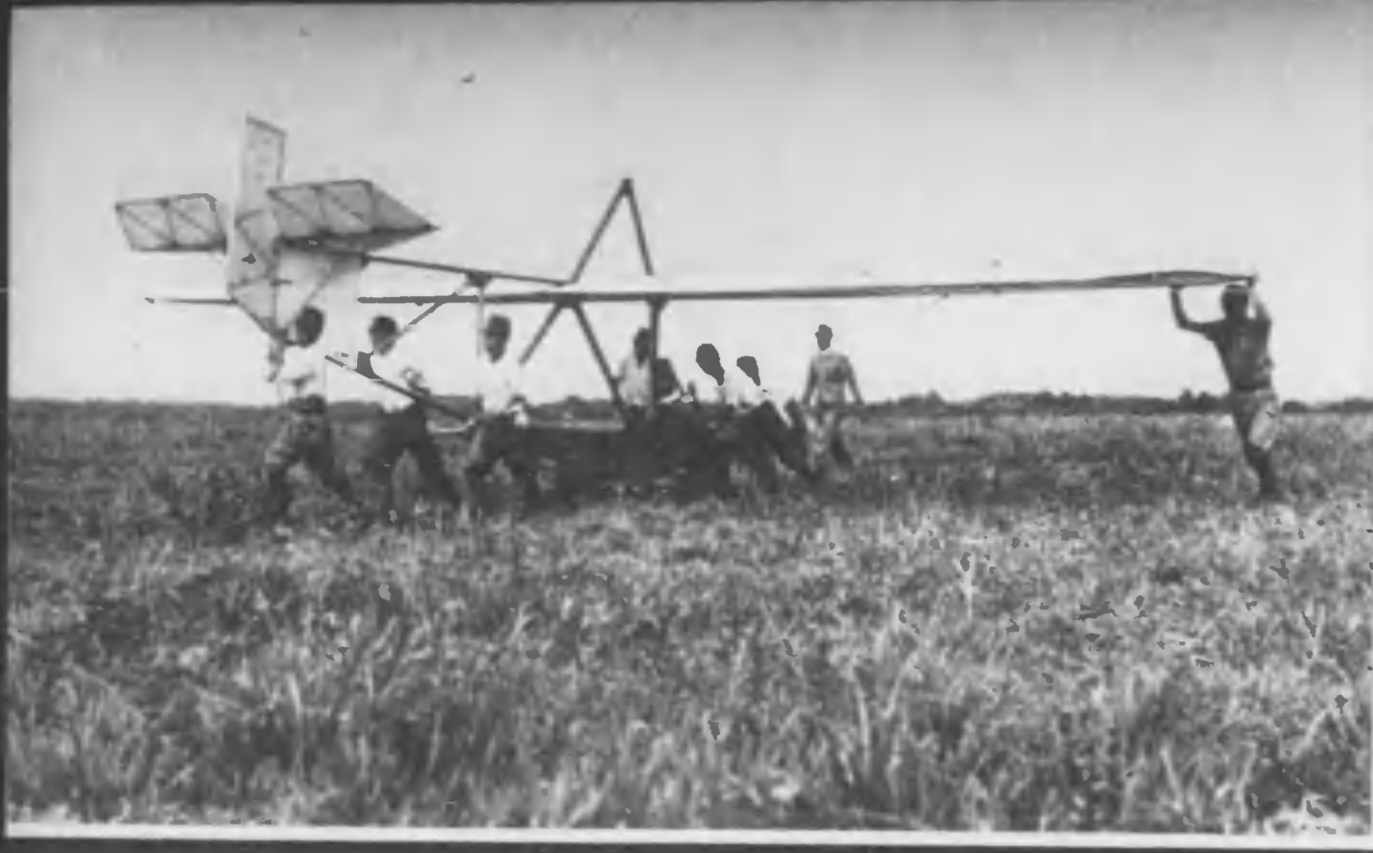
(航空研究部長 和田小六)

航空國民讀本
情報局編輯
内閣印刷局發行

ミツのグラライダー

ブライマリー

オイツニ、イツニツ、模型を積み上げて出発点へ



セコンダリー

今日からセコンダリーだ。二等滑空士へもうひと躍張り



ソアラ

ソアラの雄オリンピア・マイゼ號が出発点に運ばれる



諸君が模型グラライダーに真心を注いだかされた空への憧れはきつといつか『グラライダーにのつてみたい』に變つてくるでせう

澄む秋空を截つてヒューツと軽快な音を響かせながら旋回するソアラの美しい姿を見たら諸君はもう矢も楯もたまらなくなるにきまつてゐます

空の護りがいよゝ重大になる時、日本の青少年が一人残らず相當の航空知識を身につけてゐるとしたらどれほど

日本は心強いかしれません。そこで文部省でも全國の中等學校に滑空訓練を正課として、積極的に指導しようとする準備をすゝめてゐるので

こゝは茨城縣石岡、筑波の山裾にたつた三十萬坪の空の道場、石岡中央滑空訓練所です。こゝでは將來青少年の滑空訓練指導者となる中學校の先生や青年學校の指導者たちが軍服式の日課に従つて熱心に朝から晩までブライマリーからセコンダリーへと猛烈な訓練をつやけてゐます



滑空機十メートル。朝から晩まで直線飛行の訓練が続く

ズズ……地をはかると見ると機はフワリと宙に浮く



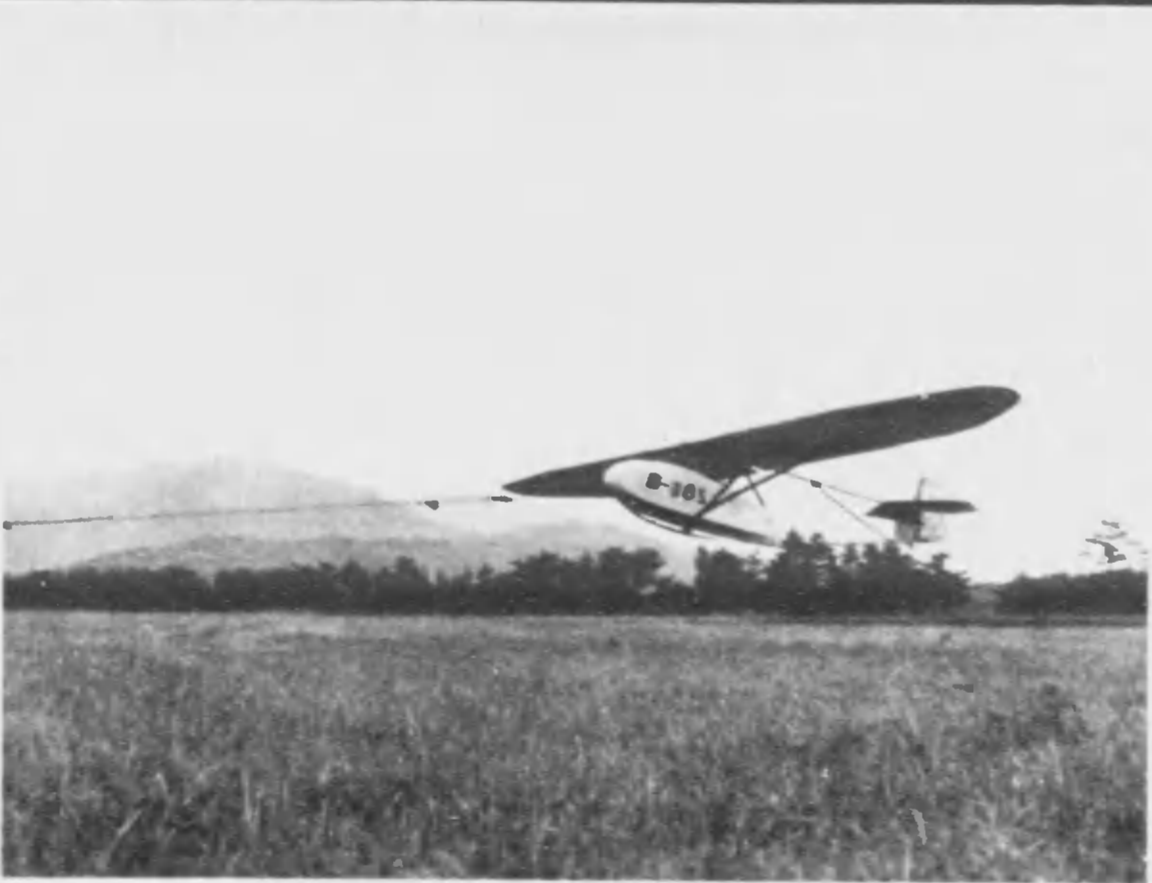
引け！ ゴム索は二手にわかれてずんくと伸びてゆく



準備よし！ 腹の底から腰をかける。全身の緊張感！



よしつ！ ワイヤーが離脱する。機は美しい旋回に移る



機はその後を追ふやうに滑り出してあまやかに離陸した



ワイヤーがピンと張る。自動車は全速力で走り出した！



出発前には機度もワイヤーの離脱試験が繰り返される



下舵：速度を増したと見るとクルリと宙返りの妙手



機は軽快な金属性の音を響かせて、のびくと宙を滑る



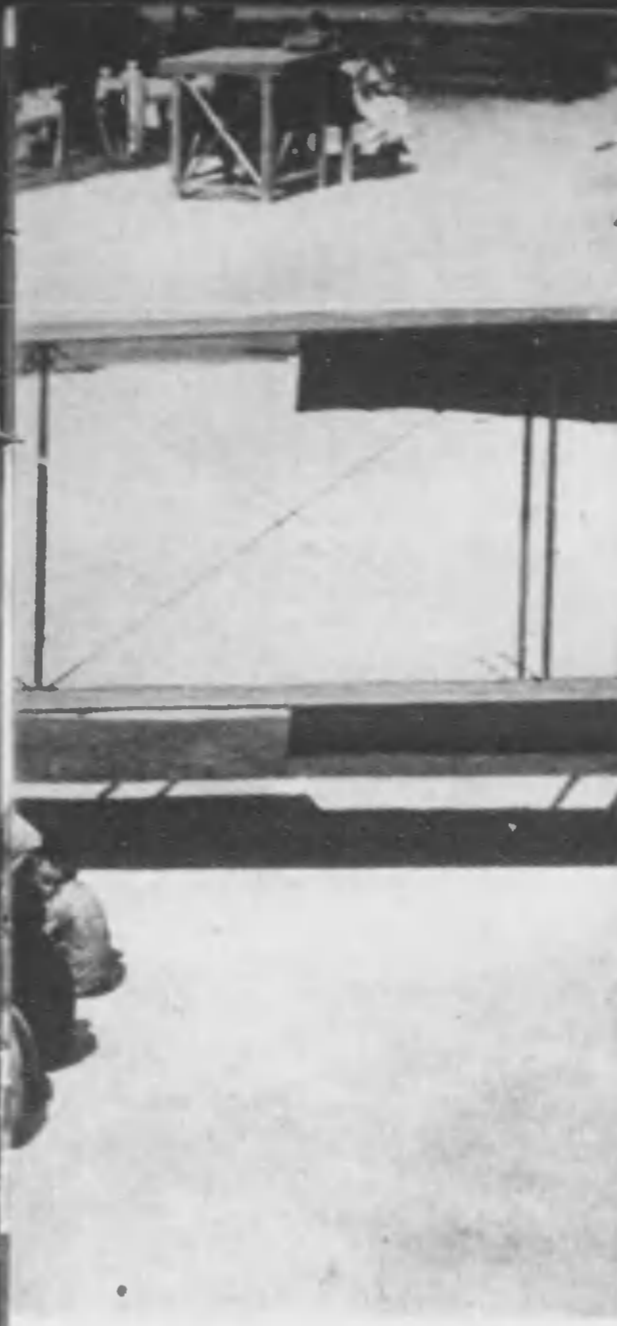
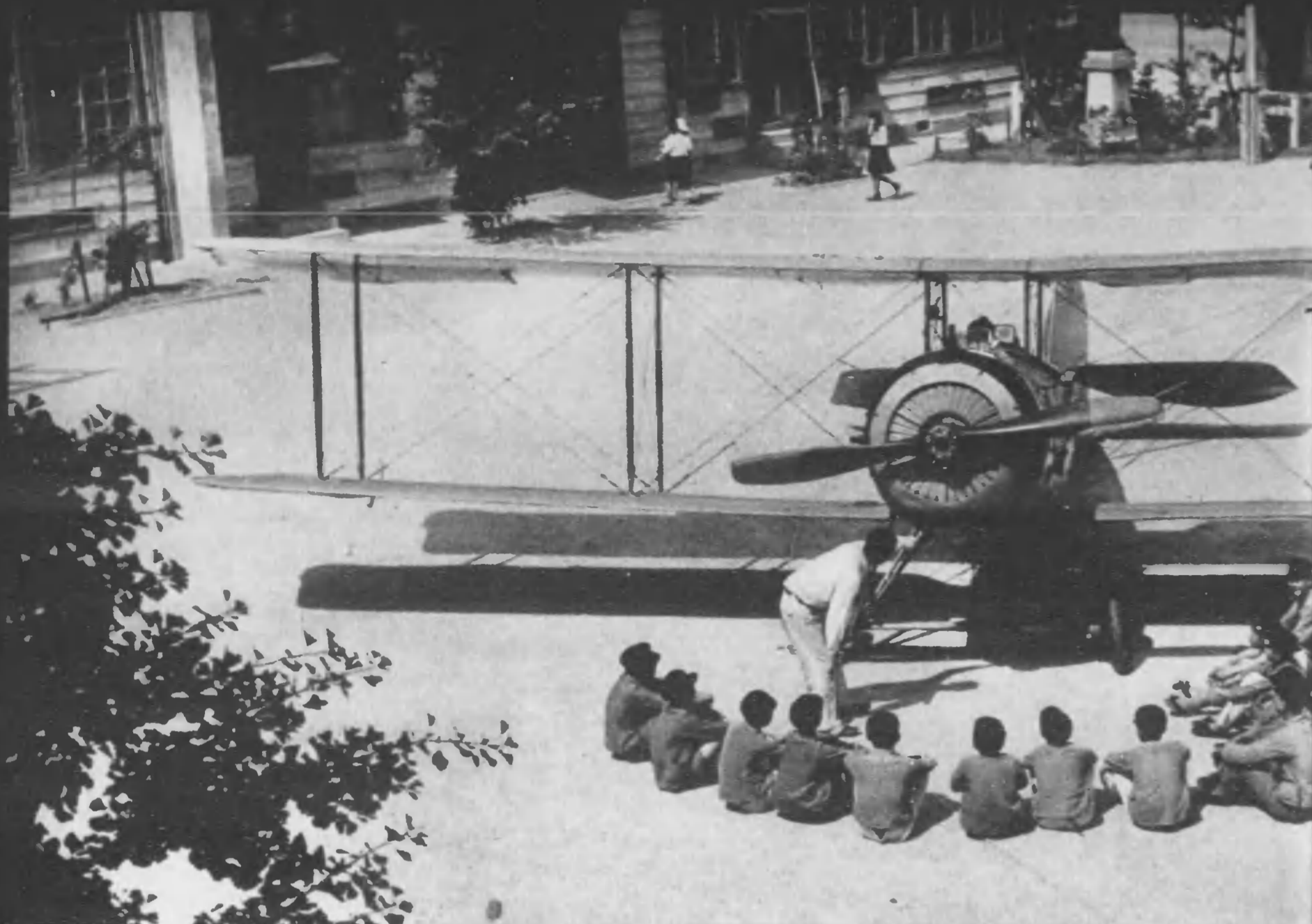
マイゼ機は飛行機に曳航されてグンと高度を高める



これには色々の計器が装置され操法も一段と高度になる

計度高
盤計器
計時昇
計度速
マイゼ機は飛行機に曳航されてグンと高度を高める

旋回傾斜計
方向舵ペダル
空軍制動ハンドル
操縦杆
前後安定
前後操縦



機體のどの部分もすべて珍らしく、目近に見、そして觸れる方向に少年の心は躍る

開つてみたい、乗りたい空を半圓のしりもちでおさへ、先づエンジンの説明を先生からきく



國民學校の工作科では機械の分解、組立、修理と共に機械の操作を行はせて、機械に関する常識を興へるといふことが一つの新しい重要な項目としてあげられてゐます。特にこゝにある寫眞のやうな航空機は少國民の興味と關心の的となるものであつて、國防教育のためにも航空思想普及のためにも工作科の機械教育としては最も中心とならなければならぬもので

それです。國民學校の工作科では航空機に関する教材を、計畫を立て、系統的に順次に教科書に載せる筈であります。たゞこゝに注意しなければなりません。今日は新しい式のもので、明日はもう骨董品となるといふ程、日進月歩發達

機空航と校学民国

校學民國根會大 市屋古名

天晴れ若鷲の風貌一べん操縦席にどつかと腰を下せば少年の身は空へ飛ぶ空だ男のゆくところ

の著しいものですから、この點、かういふ物を扱ふに當つては、既成の航空機についての知識を授けるといふことだけに止らず、その原理といふものについて十分少國民に理解させてゆくことが必要です。なほ更に工夫考案を加へて、新しい物を創造してゆくといふ氣魄や情熱にまで指導してゆくことが必要です。

兎も角この寫眞のやうに、大空を飛ぶ航空機の實物に少國民が手で觸つてみたり、又眼のあたりに見ることは、つね々々大きなあこがれを持つてゐただけに、非常な感激と興味を興へることができようと思ひます。かういつたものを總べての國民學校に備へることは、非常に望ましいことですがそれは困難なことと思ひます。

しかし、なるべくかういふ風な實物について、それを少國民の眼の前に見せて、指導してゆくといふことは、大いに獎勵したいと思います

撮影 大田 維三



残念ながら女は身を空軍に掛けることはできないが、少女の頃から航空機を理解し、空を恐れない母として心構へを養ふことが立派な航空を興立させることになりませう

偉勳を立てた航空者たちの天にも轟く讃歌とはかくやと、一日の楽しい學科を了へて愛機の上で萬歳を叫ぶ少年たち





飛行機が好き 下

やうに、お母さんたちも機内
ごとに航空機に関する本誌を購
ていたらしいのです
「心算はいらぬ、飛行機とはこん
なに快いものだ」といふこ
とをお母さんに知って驚くために
二十日の航空日には大日本飛行機
会の主催で東京、大阪、福岡の三
ヶ所で「母と子の同乗飛行」が行
はれます
東京飛行機クラブス—DOS

お母さんが 飛んでく つな

空に伸びる少年たちを正しく指
導育成するためには文部省はじめ
関係当局でも色々と骨を折つてお
ますが、少年たちのたくましい空
への希望を育てあげるためには何
といつてもお母さんたちの正しい
理解と協力が必要です
これからのお母さんは飛行機に
対する誤まつた認識は棄て、次
代の日本の空に活躍する少年たち
の空への憧れを十分に伸ばさせる





二五錢
四五錢

ルイマス

結膜炎
充血
角膜
涙腺
眼瞼
眼力
保護

町瓦區東阪大・町本橋本日京東・店商置玉社會式株●店理代總



荒鷲に捧ぐ花束
東京府 朝鮮報道寫眞研究會
愛國の赤誠に燃えて半島空の
布陣に送る十一機の陸軍機隊
命名式は八月二十日京城飛行場
で行はれたが、この日愛護幼雅
園の園児十名はお國のため立派
なお手柄を立て、下さいと、大
きな花束を荒鷲たちに捧げて、高
餘の参列者参觀者を感じさせた
日本の翼に捧ぐ花束の四島人
東京府 石田 一郎
仲び行く日本の航空界に學ば
うと、このほど聖野泰國から派
遣された若き四空軍將校は、九
月八日東京東南アジア學院の口
本語學習を終へて滋谷區代々木
村機、荒鷲の像等を見學、いよいよ
上空の闘志を培いました



若き科擧者の創意をのせて
東京府 久松 西造
機型航空機操縦空競技大會の豫
選會は航空日を間近かに控へた
九月六、七日の兩日東京市神田
小川國民學校で行はれたが、三
百に上る参加機はさすがに精の
槍舞臺を目ざして作られた苦心
の結晶だけあつて、いづれも見事
な出来栄であつて、審査員をうな
らせた
案つた三三三の審査會



復習室

- 本號からあなたは何を學んだ
てせうか？
- 1 航空日はたしか九月二十八日
ぢやありませんか？ (1頁)
 - 2 グライダーには何々の種類が
ありますか？ (1頁)
 - 3 東京 福岡は汽車なら少く
とも二十時間ばかりありますが
定期航空便ならどの位で行け
ませうか？ 八時間？ 六時
間？ 四時間？ 三時間？ (1頁)
 - 4 ヴェルサイユ條約でドイツは
飛行機を作ることゝ乗ること
も禁ぜられたのにどうして今
日の大空軍を建設したもので
せう？ (1頁)
 - 5 機型グライダーを飛ばせるの
に太郎君はグライダーを風上
に向つて投げ、次郎君は風下
に向つて投げました。さあ
どちらがよく飛んだでせう
か？ (1頁)
 - 6 機型グライダーも上手に作る
と中々よく飛びますが、一併
長くつんだ世界記録はどの位
でせう？ 二十秒？ 一分？
五分？ 一時間以上？ (1頁)
 - 7 現在日本の中等學校で滑空訓
練を行つてゐる學校はどれ位
ありますか？ 五十校？ 百
校？ 二百校？ 三百校？
四百校？ 六百校？ (1頁)
 - 8 機型グライダーを作りたいの
ですが、どんな型から始めた
らいいでせう？ (4頁)
 - 9 僕らがいよいよ機型グライダ
ーをとばさうと廣場に出たと
き、先生は草をむしつてパツ
と空に投げられました。何の
ためにそんなことをされたか
分りますか？ (8頁)
 - 10 タイ國でも最近グライダーが
狂んになりましたが、何處の
國の指導をうけたのですか？
アメリカ？ ドイツ？ (14頁)
本？ イギリス？ (14頁)
- 一問十點としてあなたは何點で
したか？



★表紙
曳航索を離れたマイゼ號
は夕陽に美しい機體を輝か
せながら大きく旋回すると
長く尾を引く虹色の雲の上
を滑り出した……
「僕もいつかあんなに上手
く飛んで……」さう思ふと
胸がどきどきと希望に
波打つて、僕の眼にはま
るで僕がマイゼ號に乗つて
ゐるかのやうに地上の萬衆
が美しい色彩で映り始めて
ゐた……
石岡中央滑空訓練所

寫眞週報(機載版)

昭和十六年九月七日印刷發行
編輯部 情報局
東京市神田區
九ノ内三ノ二
發行所 内閣印刷局
東京市神田區大手町

所 達 申	價 定
▲兼約配送御希望の方は一 部十錢(外國郵便に依る 地域は十九錢)の割合を 以て前金を添へ御申込み 下さい ▲特大號の場合は其の郵便 物送料込金より差額を申受 け致します	一 部 十 錢
内閣印刷局發行課 電話九ノ内(28)三五二一九 郵便東京一九〇〇〇	
全国各地官報販賣所 各書店・驛賣店 各新聞販賣店 寫眞材料店	

富真週報 昭和十一年九月十日 第... 印刷局印刷發行

一人一人が
一枚でも
多く買ひませう
賣出し九月十日↓三十日

貯蓄債券
報國債券
一枚五円十

大藏省・日本勸業銀行

(列傳報選)-A4規格定額はさき人の古本)